

事例紹介 個人の取り組み

「60歳再雇用でNPO出向、 全くの新領域での経験とその後の発展」

本田 恭助

一般社団法人シニア社会学会 運営委員

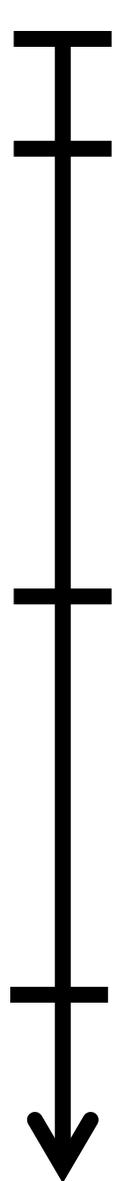
2023/09/27

労働政策フォーラム

本日はご紹介したいこと

1. プロフィール
2. 自分のフックに引っかかり、NPO出向を選択
3. 企業での蓄積をNPOで活かした領域
4. NPO出向 異分野で自分を活かすための気づき
5. 2023/10月からの発展（生涯キャリアの発見）
 - ◆その1 シニア社会学会で新研究会の立ち上げ
 - ◆その2 個人事業主として、NPO運営をサポート
6. [ご参考] 市民社会の捉え方（ペストフの三角形）

プロフィール 本田 恭助

- 
- ・ 1957年/昭和32年 生まれ
 - ・ 1980/4月 花王(石鹼) 入社
 - ・ 商品開発 (住居用、ベビー用品)
 - ・ 広告メディア (購買・メディアプランニング)
 - ・ ブランドコミュニケーション
 - ・ アジア事業戦略企画 (アジア担当)
- } マーケティング職
- ・ 60歳 定年退職 → 再雇用を選択し、NPOへ出向
 - ・ 2017/6月～2022/10月 NPO法人 日本NPOセンター (合計 5年間)
 - ・ 65歳 {
 - ・ 2018年～ 環境NPO法人 荒川クリーンエイドフォーラム
 - ・ 2020年～ 一般社団法人 シニア社会学会
 - ・ 継続してNPOで活動中
 - ・ 2023年/6月～ 個人事業主
 - ・ 〃 10月～ NPO法人 日本コンチネンス協会 (排泄ケア)

自分のフックに引っかかり、NPO出向を選択

新しい学びの場・自分の価値観に新しい軸が追加

NPOのことをわかっていなかった、一方企業のことを知らないNPO

身につくまで
時間を要した

▲ 話が噛み合わない、使う単語が異なる、衝突する

- ・ 民主主義、市民性（シチズンシップ）がベース

▲ 自分たちは企業ではない

- ・ 課題解決によって利益を得るような活動はしていない
- ・ 社会課題の解決を目標にしているが、簡単に変化しない
- ・ 業務の効率化はわかるが、改善への手間がもったいない

◎ NPO(非営利活動組織)は、貴重な高度な専門集団

- ・ 社会課題を解決に向かわせる原動力（対当事者、政策、制度、法律）

これまでの企業での蓄積をNPOで活かした領域

相互理解に時間を要したが、組織課題の解決

NPOは小規模組織で、手を付けられていないことがある

(日本NPOセンターでの事例)

■ マーケティング経験：自分達の活動の見える化

- ・ Factベースの情報整理、調査設計・分析 → 事業計画
- ・ 企業への社会貢献事業の企画書、見積書改善
- ・ アニュアルレポートの導入（団体の成果・存在価値）

■ マネジメント経験：効率化、信用度

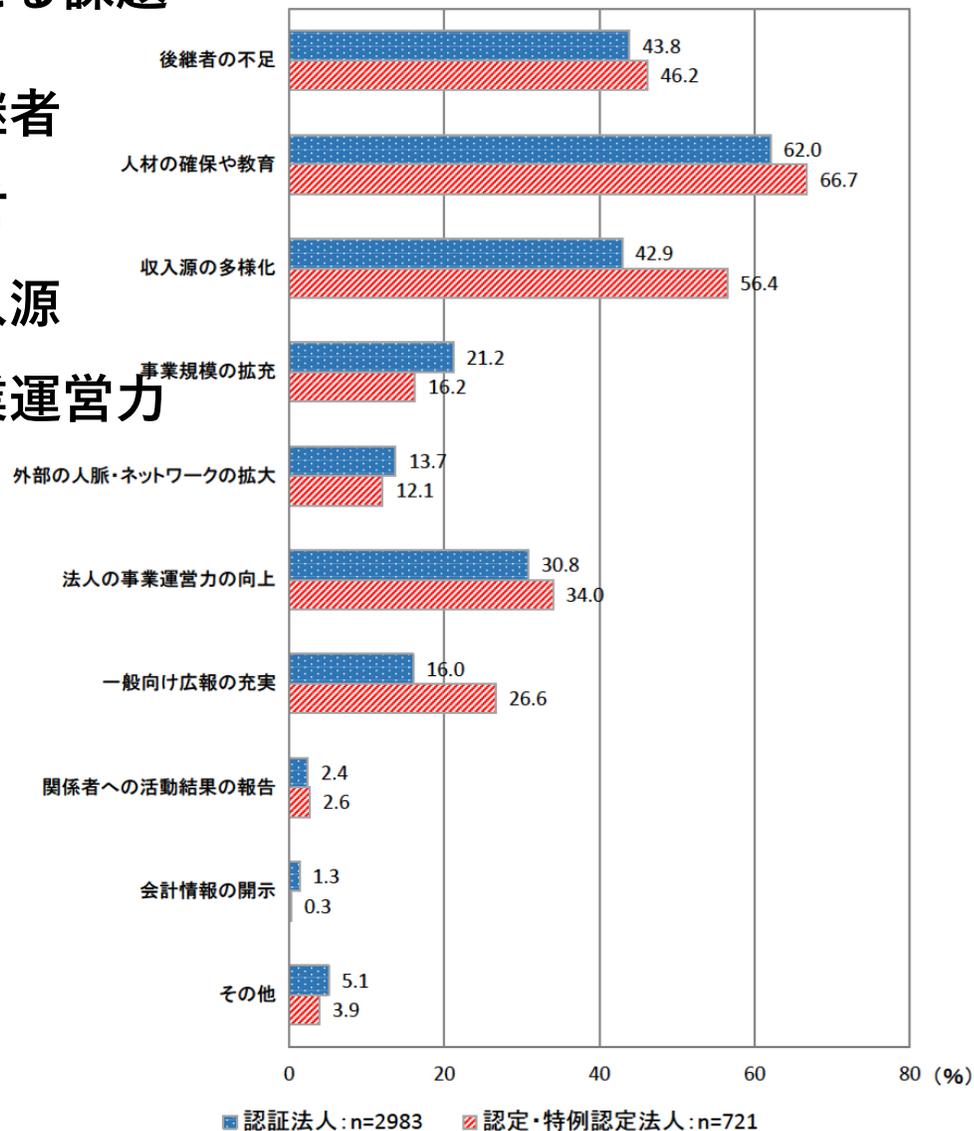
- ・ 月次管理の導入（アクション＋お金）（信用）

[参考] 特定非営利活動法人に関する実態調査報告書

◆抱える課題

【図表 10】抱える課題（3つまでの複数回答）

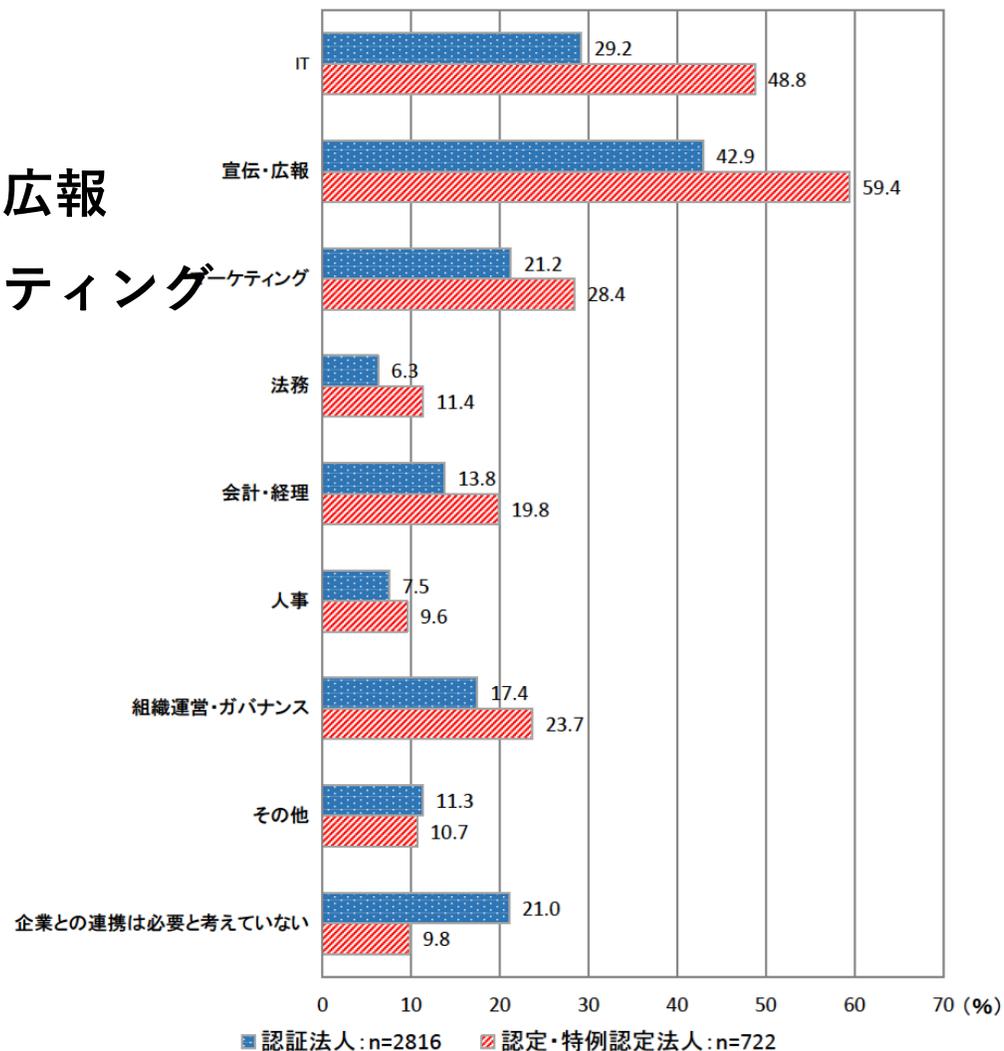
- ・後継者
- ・人材
- ・収入源
- ・事業運営力



◆企業との連携分野

【図表 12】企業との連携の分野（複数回答）

- ・IT
- ・宣伝・広報
- ・マーケティング



NPOへ出向 異分野で自分を活かすための気づき

新しい学びと苦労が必要だが、新世界が楽しい
NPO側も企業の事業運営や企業出身者への学び・理解が必要

- 関心がある社会課題をWeb検索して理解を深める
- NPOのボランティア活動に参加し、現場を知る
- NPOの人たちと話をして交流を深め、お互いを知る
- どんな貢献ができるのか、自分の蓄積を棚卸し
- 兎に角、最初の一歩、動いてみる

「計画的偶発性理論」というキャリア理論。「犬も歩けば棒に当たる」
個人のキャリアの8割は、偶然の出来事によって決定される。

2023/10月からの発展（生涯キャリア発見）その1

シニア社会学会で新研究会の立ち上げ準備中

シニアを中心に社会課題解決に参画する仕組みづくり

<新設> 「リエゾンシニアの社会参加」研究会（座長：本田恭助）

- ・ 今や人生100年時代、もはや定年後は余生ではなく、教育期や就業期後の第三期として十分に楽しめる長い期間がある。
- ・ 学ぶ、働く、社会に貢献する等、シニア世代の新しい可能性への挑戦について「研究＋実践」を目指し、探索・提案することを目的した研究会。
- ・ 当学会のテーマである「老若男女共同参画社会の実現」に向けて、特にそのひとつの要素である「地域社会に目線をおいた社会貢献」にフォーカス。
- ・ これからチャレンジしたい、どうしたらよいのか悩んでいる、すでにチャレンジや実践しているグループや個人からの事例報告や専門家の視点を共有。
- ・ これまでの生き方だけにとらわれない、新しい道に進むための条件や方法を探る。

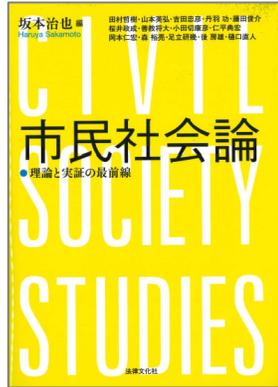
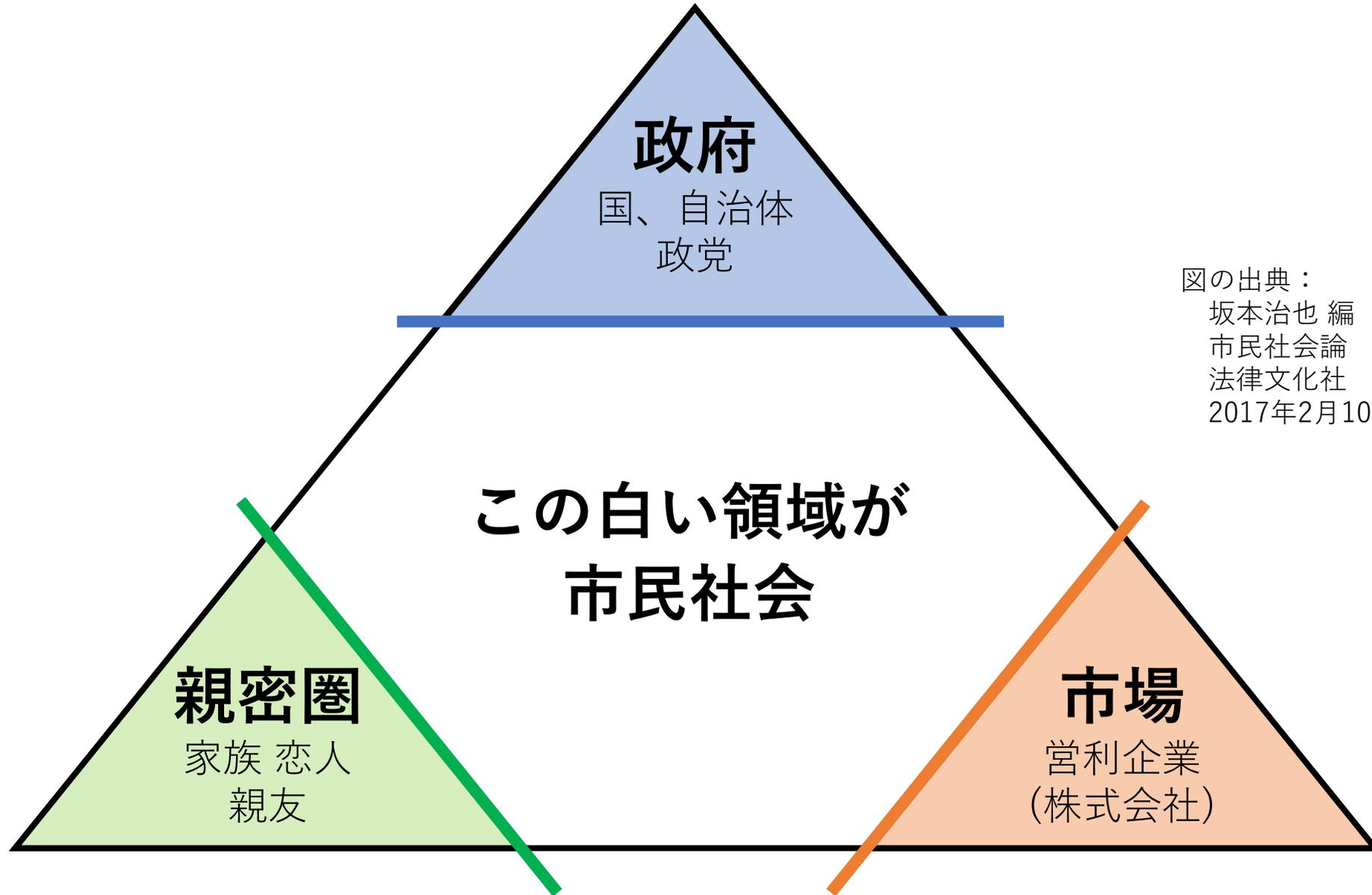
2023/10月からの発展（生涯キャリア発見） その2

個人事業主として、NPO運営をサポート

市民として、社会課題の解決に寄与し続ける

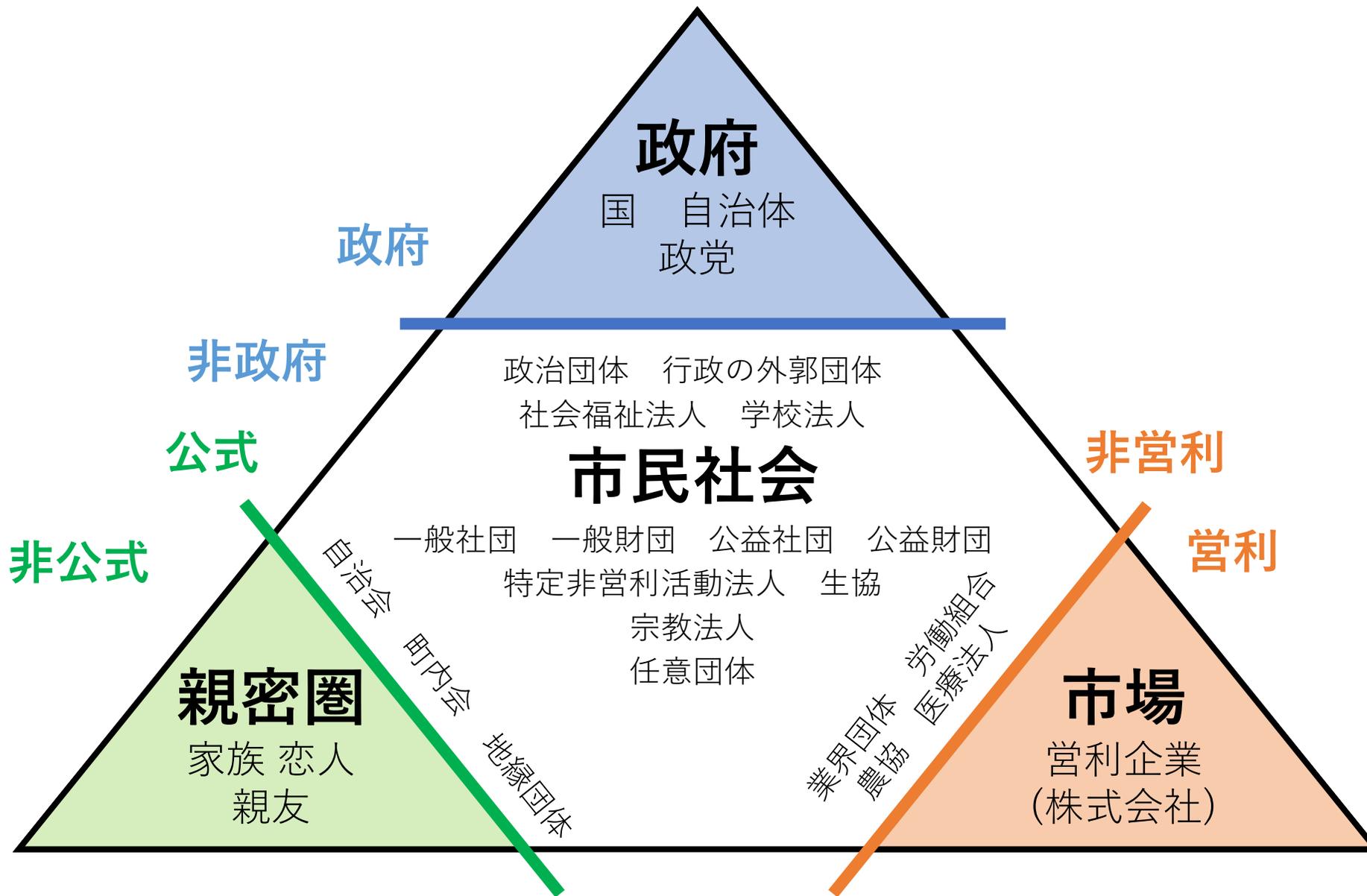
- **2023/ 6月～ 個人事業主 「事務サポートサービス・ホンダ」**
 - 4月から事務局業務の丁稚奉公、実地で修行
 - 看護師、介護士、大学の先生方と一緒に研修など
 - 組織・事務局運営の課題抽出、解決策を理事会に提案
- **〃 10月～ NPO法人 日本コンチネンス協会 事務局長を受託**
 - 事務局業務と並行して運営課題の解決に取り組み、協会の目指す方向へ一層の推進強化

[ご参考] 市民社会の捉え方 (ペストフの三角形)



図の出典：
 坂本治也 編
 市民社会論 理論と実証の最前線
 法律文化社
 2017年2月10日発行

市民社会の捉え方 (ペストフの三角形)



市民として社会課題の解決に参加しませんか？

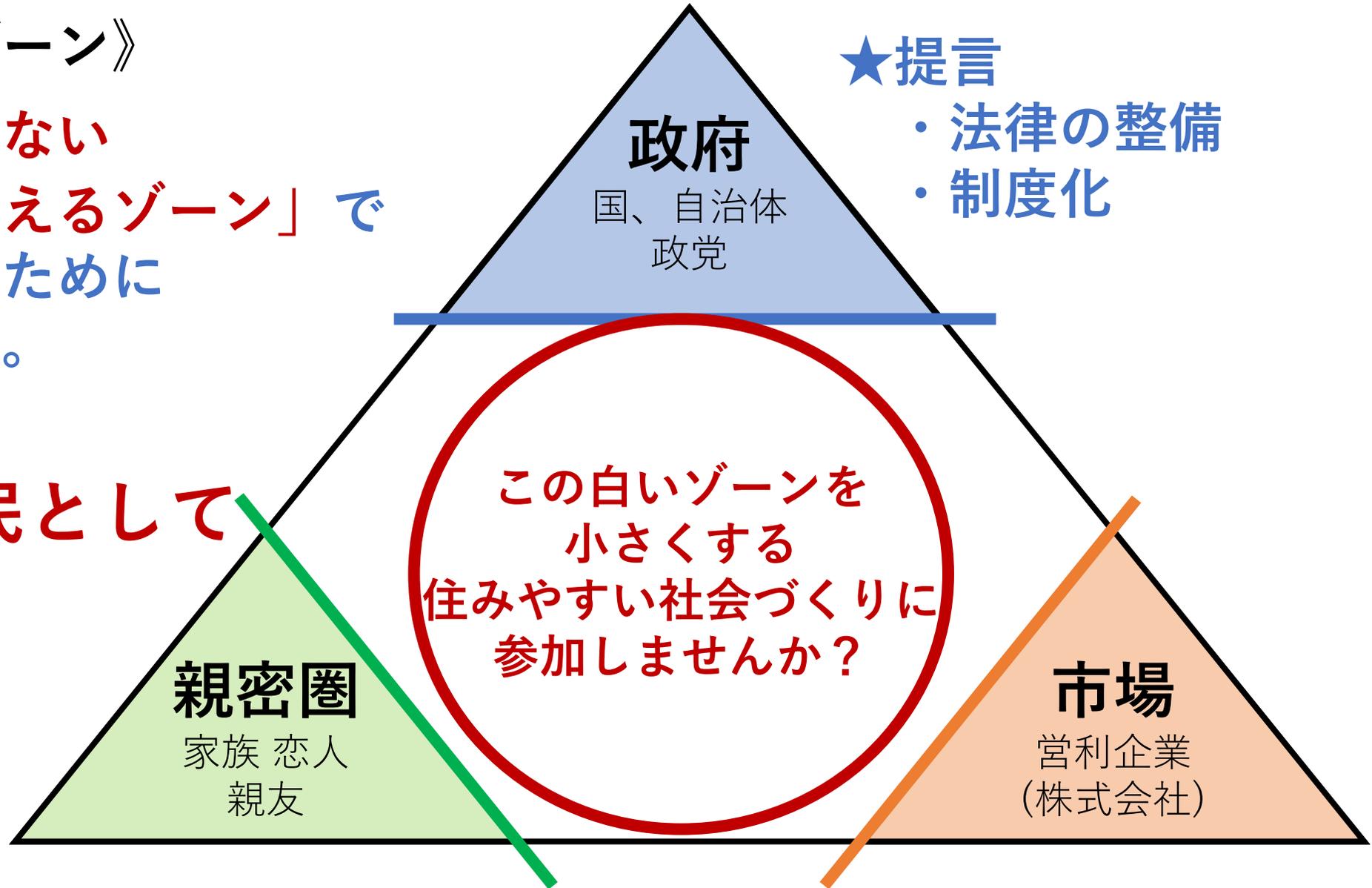
《真ん中の白いゾーン》

未だ解決されていない

「困難や課題を抱えるゾーン」で
「市民」が解決のために
日々活動している。

・ 住民 → 市民として

・ 企業市民



以上です。

ありがとうございました。